

## 栗原市防災学習センター 見学レポート

### ◎全体を通しての感想

今回 栗原市防災学習センターでの見学・体験だったが、見学のための施設かと思いきや実際に消防の方が勤務されている消防署だった。リアルな現場を見学させていただき、とても良い体験ができた。実際の災害や事故の写真や資料を入れたスライドショーの説明を聞き、救急隊員や消防隊員の方の大変さを改めて感じた。

東日本大震災のDVDの一部鑑賞した。今思えば当時、震災直後はしばらくテレビを見ることができなかったため、現場の中断映像を見たことがなかったため、今回津波被害の映像を見て、自分でも意外なほど衝撃を受けた。心臓がばくばくだった。津波の恐さを改めて感じ、やはりこのような映像や体験、被災した物の記録などを残して語り継いでいくことには意味があるのだと思った。

装置も使った地震体験では、東日本大震災の揺れのパターンと、おまけで震度7の体験をさせてもらった。震度7のほうは時間は短かったが、激しい揺れを感じることができて、普段できない貴重な体験になった。

火事での煙体験では、思ったよりも全く視界が悪くて何も見えず、短い通路での体験でも恐さを感じた。

### ◎良かった点

万が一に備えて知識を得たり意識づけをするきっかけになったり、とても為になる体験がたくさんできた。個人ではなかなか入れない施設で、普段聞くことのない職業の方の言葉を聞くことができたので、しっかり「社会的知識向上」にふさわしい活動ができたと思う。

担当の方にいくつか質問できたので良かったのではないかと思う。

### ◎改善できる点

今回は見返してみると写真が少なかったのが、お話を聞いたりと映像を見たりしながらでも、いろいろと写真に残しておけば良かったと思った。